



学校給食無償化継続へ

市議会への
主要事項説明会
施策推進「5つの加速化アクション」設定

議会への主要事項説明会が7日開かれまし

た。

第2次鶴岡市総合計画基本計画の後期基本計画の概要が、説明さ

れました。

6日の総合計画審議

会で計画の最終案が審議され、答申を受けて、3月上旬にパブリック

コメントを行い、同下旬に公表されます。

若者に選ばれるまちなど5つの視点

施策推進のために、

特に重視すべき視点として、「5つの加速化アクション」が設定されています。

①若者・子育て世代に選ばれるまちづくり

本市で活躍し、ここで暮らしたいという若者や、鶴岡で子育てをしたいという人を増やす。

②SDGs未来都市の実現

誰一人取り残さず、市民が本心に幸せだと思えるまちの実現。

③産業振興と人材育成

「遊び場整備の方向性の検討」が示されました。

④交流人口の創出・拡大

ひとの交わりを加速させ、移住者や関係人口を増やす。

⑤総合的なデジタル化戦略の推進

デジタル技術を活用した施策の推進。

遊び場整備を求める市民ニーズに

応える。

3. 財政に配慮した持続可能な「遊び場」を構築する

(既存施設の有効活用等)。

具体化では、(仮称)子ども会議を開催し、子どもたちからの意見の反映と、キッズドリームソライの利用料軽減の検討が示されました。

給食無償化 経費5・6億円見込む

さらに、学校給食費の完全無償化の継続が示されました。

令和4年11月から、物価高騰対策の一環として給食無償化が実施されてきました。

4月以降も実施され、対象者は市内在住すべての小中学校児童・生徒で、経費を約5億6千万円を見込んでいます。

給食費無償化により、保護者負担の軽減を図り、各学校で行っている給食費の集金業務が不要となり、教職員の負担軽減にもつながるとしています。

給食費の無償化を求める市民運動では、国民の食糧と健康を守る運動田川地区連絡会

(田川食健連)が、昨年3月に4888人の署名、8月に4137人の署名を提出したことが、大きな力になりました。

SEADS評価検証・行革との連携

鶴岡市立農業経営者育成学校(SEADS)について、今後は、評価検証と情報公開のあり方を整理し、行財政改革と連携して進めていくとしています。

行財政改革との連携では、令和6年1月25日に開催した令和5年度第2回鶴岡市行財政改革推進委員会で、第3次行財政改革大綱実施計画に、SEADSの取組を追加することが承認されました。

議会では、自民会派が、当初計画の目標数値から実績が離れているとして、政争の具として攻撃してきた経緯があります。

行革の対象施設になれば、実績の数値次第で、廃止の課題も浮上します。

農業の現状をみれば、新規就農者の定着は簡単ではありません。

目標数値の達成を求めるのではなく、新たな担い手として、地域に希望を持って定着し、魅力ある農業が実践できるよう、

(2面につづく)

県民に、「笑う努力義務」？



▽県議会自民党会派が、「山形県笑いで健康づくり推進条例」(案)を公表し、2月定例会での制定をめざしています。条例案は県民に「1日1回は声を出して笑う等、笑いによる心身の健康づくりに取り組むよう努める」と努力義務を課しています。また、県には「笑いによる心身の健康づくりに関する意識の啓発に努める」と、県民の意識変容に取り組む事を求めています。

▽笑顔で暮らせる社会をつくっていく事は、多くの県民の願いであり、笑いが健康の維持・増進に資する事についても、社会に一定の共通認識があると考えます。

しかし、いかなる理由であれ、

(県議 関 徹)

笑う事を行政が県民に義務として課してはなりません。条例案自身も別の項目で「個人の意思の尊重」を記載し、努力義務を打ち消そうとしています。

▽北海道では「道民笑いの日」を制定しているといいますが、活動は講演会や健康づくりの普及・啓発活動等にとどまっています。

▽また、笑いの日として定めるという8月8日とその日を含む8日間は、長崎原爆投下の日、終戦記念日を含んでおり、日程設定も好ましくありません。

▽そもそも今の自民党に、県民に笑いを呼びかける資格があるのか問われているのではないかと考えますが、自民党にも、私共にも、ご意見が寄せられる事を期待しています。

除雪対策費8・5億円追加

臨時市議会ふるさと寄附金返礼品増額1・7億円

鶴岡市議会2月臨時
会が7日開かれ、除雪
対策費の専決処分の承
認と、一般会計補正予
算、鶴岡市名誉市民の
称号を贈ることについ
て、当局提案が全会一
致で承認、可決、同意
されました。

除雪対策費の専決処
分は1月16日、当初予
算5億6378万円に
8億5千万円を追加
し、14億1378万円
としました。

過去の除雪対策事業

の決算額は、
令和2年度18億81
28万5千円、
令和3年度26億18
41万2千円、
令和4年度18億43
36万9千円でした。

令和5年度一般会計
補正予算は1億766
9万2千円を追加し、
予算総額を781億4
459万円としまし
た。

主な内容は、鶴岡市
名誉市民推戴式の開催
経費169万2千円

と、ふるさと寄附金に
よる返礼品経費等の増
額1億7500万円で
す。

鶴岡市名誉市民の称
号を酒井忠久氏に贈る
ことについては、1月
の市選考審査会で全員
賛成で答申が出され、
議会が同意しました。
昨年7月には、慶応
先端生命科学研究所の
前所長の富田勝氏が推
戴されました。

小中一貫市教委の決定延期

基本計画（案）にパブコメ多数届く

市教育委員会は、「鶴
岡型小中一貫教育基本
計画（案）」について、
市民からのパブリック
コメントを、1月29日
から2月9日まで募集
しました。

学校教育課による
と、20数通が届いてい
るとのこと、現在、
意見に対する回答作業
を進めており、2月14
日の定例教育委員会に
は、予定していた計画
案の議題が上程され
ず、3月21日の定例会
に延期になったとのこ
とです。

パブコメの募集は、
市ホームページの「お
知らせ・新着情報」
になく、簡単に見つけ
にくいようにされてい
ましたが、口コミで広
がり、パブコメの広が
りが大きな影響を与え
ています。



組合長が記念講演
の小林組直産内庄

「国内農産物は安心？ 安全？」記念講演

第61回田川地区母親大会

第61回田川地区母親
大会が11日、鶴岡協同

の家こびあで開催され
ました。

記念講演で、庄内
産直センター組合長
の小林隆範氏が「国
内農産物は安心？安
全？」と題して、除
草剤グリホサートの
問題や、ネオニコチ
ノイド系農薬の問題
を話しました。

（1面のつづき）
支援を強めることが大
切です。

中小企業振興条例の
検討を進める

中小企業の振興で
は、「中小企業振興条
例」の検討を進めると
しています。

条例は令和3年3月
議会に提案され、2度
の継続審査の後、9月
議会で自公会派の反対
で否決されました。

自公会派は、「提案
プロセスに問題」、「ス
ローガンの内容で意味
がない」と述べました。

市は、広く中小企業、
関係団体等から意見の
聞取り、中小企業振興
施策の充実を図るとし
ています。

ロックごとに小中一貫
教育を導入し」と掲
載されています。

総合計画のパブコメ
は、3月上旬に募集さ
れます。

このまま強行するこ
とがあってはなりません。

ています。

国際化推進プラン

「SDGs未来都市
の実現」に関する取組
では、多文化共生のま
ちづくりと、国際化対
応の充実を図るため、
「鶴岡市国際化推進プ
ラン」に基づいて、出
羽庄内国際村の施設活
用を図っていくとして
います。

新たに、薫蒸機能を
生かし、郷土史料等の
保存庫として活用しま
す。

避難基準見直し

説明会では、能登半
島地震における災害対
応についても説明があ
り、今回の災害を踏ま
えた課題対応では、避
難指示発令の基準（範
囲の検討）を見直し、
地域防災計画の修正を
図っていくとしていま
す。

被災地への職員派遣
についても報告されま
した。

会員がフラダンスや マジックなど披露

鶴岡民商が新春のつどい開催

鶴岡民主商工会（菅
原健一会長）の「新春



あいさつしました
議院徹関

のつどい」が8
日、勤労者会館
で開催され、会
員のフラダンス
やマジックショ
ウなどが演じら
れ、元氣の出る
交流会となりま
した。
関徹県議と市
議団4人も参加
しました。